

RIVER
One and Only Creator

第68期 中間株主通信

2012年4月1日～2012年9月30日

リバーエレクトック株式会社
証券コード 6666



通期での利益確保を目指し、更なる原価低減と 営業力の増強を図ってまいります。

代表取締役社長 若尾富士男



Q 第2四半期（連結累計期間）の総括をお願いします。

第2四半期累計期間の水晶製品事業は、前年度からのスマートフォン向け製品の需要が堅調に推移し、音叉型水晶振動子「TFX-03」やATカット水晶振動子「FCX-07L」などの小型製品の売上が好調であったことから、前年同期比で6.2%増の29億56百万円となりました。その中で売上高の6割近くを占めているスマートフォン関連は、得意先からの値下げ要請が厳しい状況でありましたが、前年同期比で2.1%増加しました。その他の電子部品事業におきましては、抵抗器分野、インダクタ分野ともに事業縮小の影響により、前年同期比で29.2%減の50百万円となりました。

その結果、連結の売上高は、30億7百万円（前年同期比5.4%増）になりました。損益につきましては、営業利益は、販売価格の下落を販売数量の増加やコスト縮減などでカバーした結果、42百万円（前年同期比294.1%増）と大幅な増益となりました。経常利益は36百万円（前年同期比9.6%減）となりました。



Q 通期の見通しについて教えてください。

東日本大震災の復興需要を背景として緩やかな回復傾向にあった日本経済は、大手電機メーカーの経営不振や景気後退のニュースが伝えられるなどマイナスの景況感が漂っております。また世界経済においても欧州の景気低迷に中国の成長鈍化や日中関係悪化の影響もあり、予断を許さない状況が続くのではないのでしょうか。このような状況を背景に電子部品の需要見通しも一層厳しくなっていくものと予想しております。

「全てのステークホルダーから信頼され、価値のある会社であり続けること」を経営の基本方針とし「アジア地域の営業体制の再構築と販売網の拡充」「音叉型水晶振動子のコスト競争力強化」「経営資源の有効活用」を重点戦略とした第3次3ヵ年中期経営計画をもとに、更なる原価低減と営業力の増強を図りながら、競争力の向上と利益確保ができるよう鋭意努力して取り組んでまいります。

なお、期初に公表いたしました当期の業績予想である売上高70億56百万円、営業利益55百万円、経常利益66百万円、当期純利益28百万円につきましては、大変厳しい状況下ではありますが、現時点で据え置きとしております。

Q 市場での今後の展開をお聞かせください。

当社販売の主力としているスマートフォン市場は、好調であるが故に海外メーカーを含めた業界各社がここに注力しシェア競争が激しさを増しております。このため販売価格の値下がりも大きく、収益性を低下させる要因となっており、また

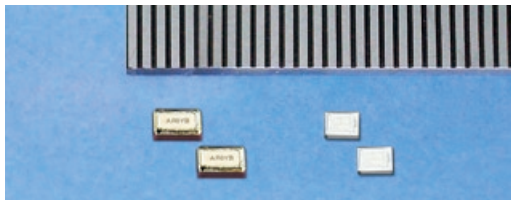
大手メーカーの所要に対応するための生産体制増強に伴うリスクも抱えております。

ただ2017年には世界の販売台数24億3千万台のうち52%をスマートフォンが占めることが予測されています。これは中近東・アフリカ地域等の新興国を中心に普及率の急上昇が予想されるとともに、高普及国での2台目、3台目の需要の伸びが見込まれているからですが、当社にとっても追い風となると思いますので、引き続き当社の強みを生かし優位性を発揮できるこの市場を中心に新製品の投入を含めて効果的に経営資源を投入していきたいと考えております。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

私たちリバーグループでは、市場に新たな価値を創出、提供することでトータルの企業価値を高めることを目指しています。ユーザからの信頼を得られる品質のつくり込み、独自技術による製品開発で優位性を持った価値ある新製品を今後も創出していきます。世界最小サイズの音叉型水晶振動子TFX-04、ATカット水晶振動子FCX-08などのシリーズ化をさらに進め、3ヵ年中期経営計画の目標達成に向けて邁進してまいります。

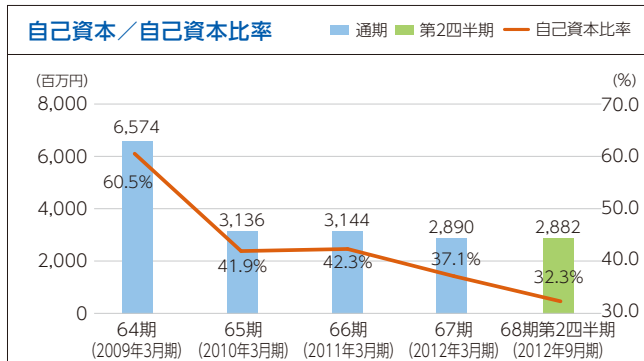
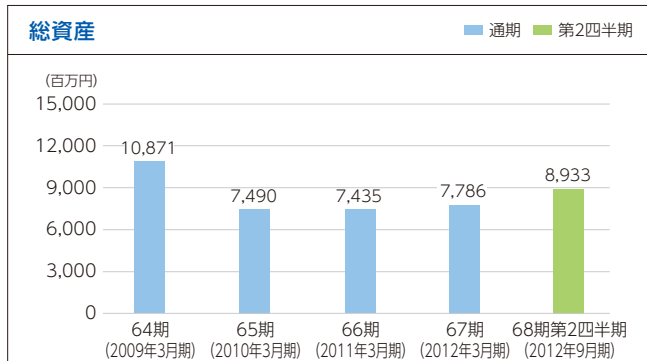
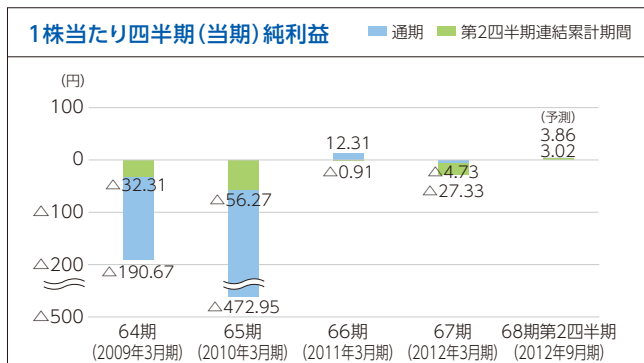
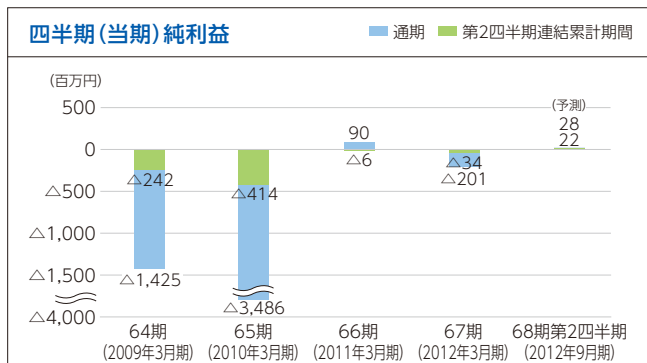
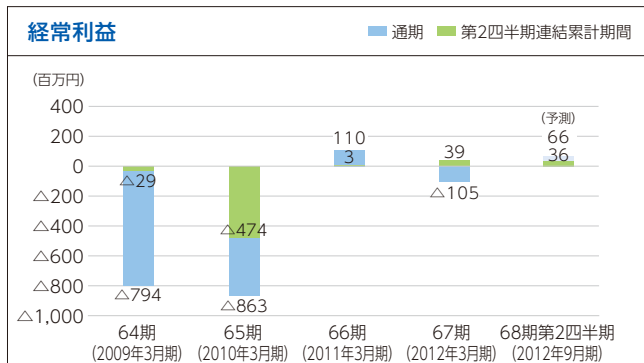
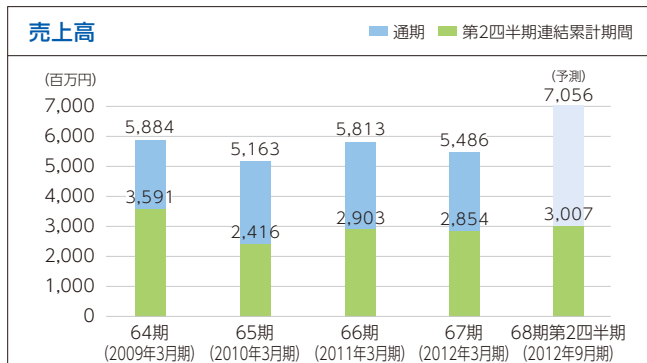
株主の皆様におかれましては、引き続き倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。





Financial Highlights

連結業績のご報告



Topics 1 新しい水晶発振器を開発しました

小型水晶デバイス開発の先進企業である当社は、動作温度範囲105℃を実現した水晶発振器「FCXO-05W」「FCXO-06W」を開発しました。高い信頼性の要求される産業機器の分野に出荷し始めています。

一般的に民生品用の設計において、部品の動作温度範囲は高くても85℃までが上限となっています。しかし、スマートフォンに代表される近年のモバイル機器では高密度実装の必要に迫られたことにより、製品内部温度が上昇傾向にあることから、今後民生品用でも85℃以上で性能保証できるような小型部品のニーズが増えることが予想されます。

また温度範囲の上限を105℃までに拡大したことで、今まで対応できなかった市場、用途へ販売することが可能となり、取引先の拡大も期待されます。

リバーの水晶デバイスが、高まる高性能化のニーズに欠かすことのできない役割を担っています。



Topics 2 福祉活動に参加しています

製造子会社の青森リバーテクノでは、地域貢献活動として空き缶のプルタブ回収に取り組んでおります。再生可能なリサイクル資源のプルタブを集め、換金したお金で車椅子を購入し社会福祉協会へ寄贈するものです。限りある地球資源の有効活用と資源循環の促進を目指し5年ほど前から開始した取り組みですが、多くのプルタブを回収することができました。

車椅子を購入するためには、プルタブがドラム缶で7~8本、約800kg、個数にして140万~150万個が必要とされますが、残念ながら車椅子を購入できる量には至っていません。そこで今期末を区切りとし、不足している分は青森リバーテクノが負担することで、車椅子を購入し寄贈することとしました。

東日本大震災で、被災された多数の病院や老人ホームでは、津波により大切な車椅子なども流されてしまったと聞きますが、被災地への支援はもとより、これからもより良い社会づくりに貢献できるさまざまな活動に取り組んでまいりたいと思います。



株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。

お手数ではございますが、

アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヵ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 6666

いいかぶ

検索



空メールにより
URL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からも
アクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する[e-株主リサーチ]サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ [e-株主リサーチ事務局] TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

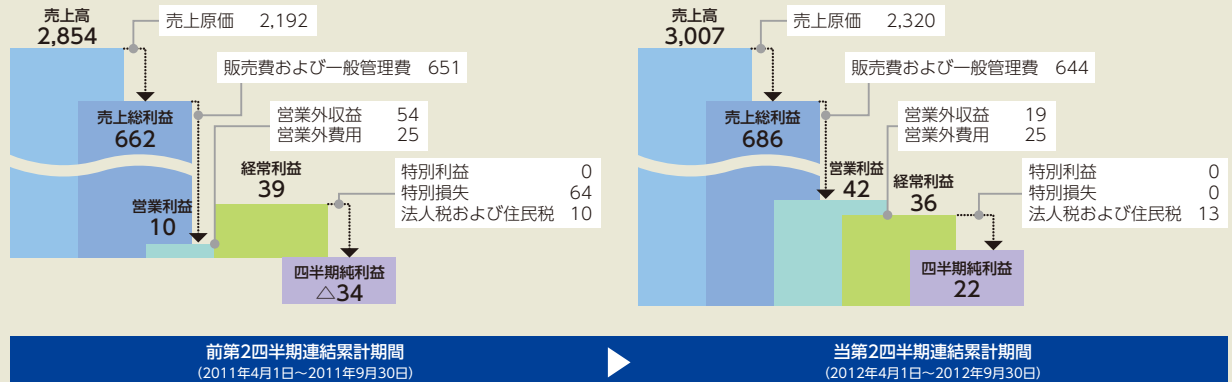


Consolidated Financial Statements

連結財務諸表

連結損益計算書の概要

(百万円)



ポイント

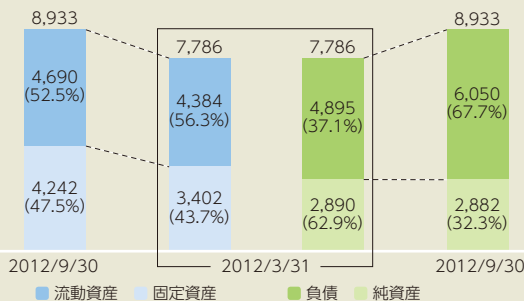
厳しい価格競争があったものの、スマートフォン向け音叉型水晶振動子、無線モジュール向けの小型水晶振動子の受注が伸びたことにより増収増益となりました。売上高は前連結会計年度末から5.4%の増加、営業利益は、数量増加やコスト削減が功を奏し294.1%の増加となりました。

連結貸借対照表の概要

(百万円)

資産の部

負債・純資産の部



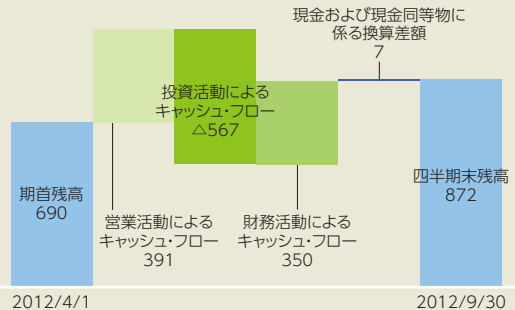
ポイント

資産、負債および純資産の状況について

資産…主に生産能力の増強に伴う機械装置等の有形固定資産の増加
負債…主に短期借入金、設備関係支払手形の増加
純資産…主にその他有価証券評価差額金の減少

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)



ポイント

キャッシュ・フローの状況について

営業CF…主に税金等調整前純利益、減価償却費による資金の獲得
投資CF…主に有形固定資産の取得による支出による資金の使用
財務CF…主に短期借入金の純増、長期借入金の増加による資金の獲得



Corporate Profile & Stock Information

会社概要・株式の状況

会社概要

(2012年9月30日現在)

商号	リバーエレテック株式会社 RIVER ELETEC CORPORATION		
設立	1951年3月9日		
資本金	10億7,052万円		
従業員数	91名		
役員	代表取締役社長	若尾 富士男	
	取締役	三枝 康孝	
	取締役	高保 譲治	
	取締役	萩原 義久	
	常勤監査役	古屋 延行	
	社外監査役	越智 大藏	
	社外監査役	丸山 正和	

事業所

本社	〒407-8502 山梨県韭崎市富士見ヶ丘2丁目1番11号
東京営業所	〒160-0023 東京都新宿区西新宿4丁目40番14号
大阪営業所	〒570-0083 大阪府守口市京阪本通1丁目3番2号 新近藤ビル3F

リバーグループ（子会社の状況）

会社名	資本金	議決権比率(%)	事業内容
青森リバーテクノ株式会社	千円 50,000	100	電子部品の製造
台湾利巴股份有限公司	千台湾元 19,200	100	電子部品の販売
River Electronics (Singapore) Pte. Ltd.	千米ドル 123	100	電子部品の販売
River Electronics (Ipoh) Sdn. Bhd.	千マレーシアリングギット 25,400	100	電子部品の製造
西安大河晶振科技 有限公司	千元 18,541	100	電子部品の製造・販売

株式の状況

(2012年9月30日現在)

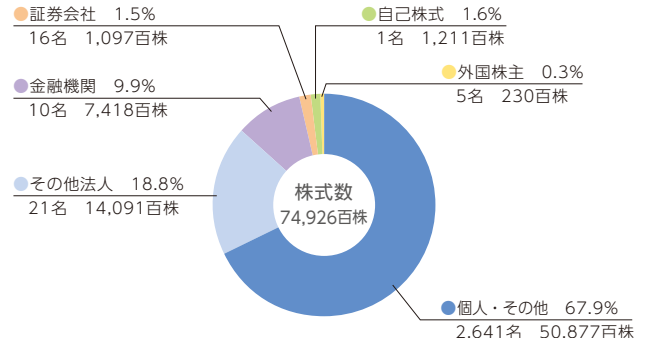
発行可能株式総数	21,600,000株
発行済株式の総数	7,492,652株 (自己株式121,148株を含む)
株主数	2,694名 (前期末比96名減)

大株主

株主名	持株数 (百株)	持株比率 (%)
若光株式会社	12,233	16.60
株式会社山梨中央銀行	2,680	3.64
竹田 和平	2,239	3.04
リバー従業員持株会	2,134	2.90
若尾 富士男	1,887	2.56
若尾 磯男	1,651	2.24
株式会社みずほ銀行	1,500	2.03
持原 和則	1,300	1.76
若尾 亘	1,281	1.74
株式会社商工組合中央金庫	1,200	1.63

(注) 持株比率は、自己株式1,211百株を控除して計算しております。

所有者別株式数分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付／ 電話お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-288-324 (フリーダイヤル)
公告方法	当社ホームページに掲載する。(電子公告) < http://www.river-ele.co.jp/ > ただし、事故その他の止むを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
上場証券取引所	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)

未払い配当金の支払い、支払い明細等の発行に関するお問い合わせ

お手続きお問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店	みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 株式会社みずほ銀行 本店及び全国各支店 (みずほインベスターズ証券株式会社では取次のみとなります)

※みずほインベスターズ証券は、2013年（平成25年）1月4日以降はみずほ証券となります。

住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金受取り方法のご指定、相続に伴う手続き等

証券会社でお取引をされている株主様

お手続きお問い合わせ先	お取引のある証券会社
-------------	------------

特別口座に記録されている株主様

特別口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
お手続きお問い合わせ先	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-176-417 (フリーダイヤル)
特別口座での留意事項	①特別口座では、株式の売却はできません。売却するには、証券会社にお取引の口座を開設し株式の振替手続を行う必要がございます。 ②株券電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。